

寛政五癸丑歲 南信濃飯田

詔光

一羽産け墨画と成り

ふもいぬ

馬瀬并

蘭二

家内はみおぼやのいふむ

五月廿七日

子季軸

おのれは未活しやうん

核中よりとれぬ

日とゆは向ふと見られ

かゝぬと云ふは下あり

以て腹をこぼれぬ

夜もかゝぬ

活東文通

芭蕉堂

團更

名を
まゝに泥舟の味

開合知